

令和4年度 研修指導センター事業計画

I 基本方針

研修運営を通して県内及び法人内の介護人材の育成を図り、福祉サービスの質の向上を目指すことで、共生社会の一翼を担うことを目的とする。

II 事業内容

1 法人内部の職員育成

(1) 研修体系の構築への取り組み

キャリアパスに連動した研修を実施し、職員の意欲向上とスキルアップを目指す。

(2) 法人内研修事業

ア 階層別研修

各階層ごとの職務遂行に必要な知識の習得と意識を涵養し、次世代を担う人材を育成する。

新規採用職員研修（採用時）	内部：（法人理念・沿革・就業規則・中長期計画、SDGs 接遇・利用者体験・仲間づくり等）
中堅職員研修（在職中）	内部：（法人理念・メンバーシップ・中長期計画・SDGs等）
主任研修①（昇任時）	内部：（法人理念・中長期計画・SDGs・主任の役割・OJT等）
主任研修②（主任4年目～）	内部：（法人理念・中長期計画・SDGs・リーダーシップ・コンプライアンス・振り返り）
サブリーダー等研修（昇任時）	内部：（法人理念・中長期計画・SDGs・チームビルディング・リスクマネジメント・ストレスマネジメント等）
グループリーダー等研修（昇任時）	外部：aもしくはb（aは介護施設が対象） a 介護労働安定センター：雇用管理責任者総合コース（雇用・賃金・労働条件・就業規則・社会保険・雇用管理等） b 群馬県社協：福祉施設等チームリーダー対象研修（職場におけるチームリーダーとしての役割）
次長・副園長等研修（昇任時）	外部：県社協施設長研修（法人の経営改善と経営者の役割）
所属長研修（昇任時）	外部：県社協施設長研修（法人の経営改善と経営者の役割） *グループリーダー・課長から所属長に就任した場合

イ 目的別研修

法人内の横断的な業務や今後の事業展開に不可欠となる業務等に則した知識や技術を習得することにより、サービスの質の向上を目指す。

採用後3年目研修	内部：法人理念・中長期計画・SDGs・課題解決・振り返り
業務標準化研修	職場内：各職場にて（業務評価の意義・OJT）
認知症ケア研修	a 高齢者施設の認知症介護指導者が実施 b 法人内事例検討
マネジメント研修	福祉サービスにおけるマネジメント
実務研究助成事業・報告会	職場における研究活動とその報告
その他（必要な研修）	必要に応じて実施

ウ 講師経験による育成

介護職員初任者研修等の講師を務めることで、介護福祉士としての知識・技術・態度をブラッシュアップし、伝達力や指導力を養う。ひいては使命感を持って地域や自職場の介護サービスの向上を目指せる職員の育成を目指す。

エ 実務研究助成事業

日々の実務の中で直面している課題の研究に対して助成を行い、サービスの質と意欲の向上を支援する。報告会の実施により、研究成果の共有とプレゼン能力の向上を図る。

オ 認知症介護指導者の育成

群馬県から受託している認知症介護研修を効果的かつ安定的に実施するため、法人内から認知症介護指導者養成研修を計画的に受講させ、県内の認知症ケアに携わる人材の育成に貢献すると共に法人内の認知症ケアのスキルアップを目指す。

2 地域の福祉力向上に貢献する事業

(1) 介護職員初任者研修の実施

潜在的な介護の担い手であり、就労に意欲的な方に対して、雇用につながる資格取得の支援と、他機関での受講が困難な聴覚障害者の資格取得支援に積極的に取り組み、地域の介護人材の育成と確保に貢献する。

(2) 群馬県健康福祉部に係る研修等業務の受託

ア 県受託研修等

高齢者ケア専門研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護フォローアップ研修、認知症対応型サービス事業開設者研修、認知症対応型サービス事業管理者研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修、ぐんま認定介護福祉士養成研修、喀痰吸引等指導者講習、権利擁護推進員養成研修を継続して受託する。

イ 認知症介護指導者との連携

群馬県認知症介護指導者の事務局として、認知症介護研究・研修東京センターの世話人会への参加や指導者への情報提供、県内指導者打合せ会、勉強会等の企画運営を行い、研修内容の充実と指導者間の連携を図る。

(3) 地域団体に向けて、介護や認知症に関する講習等を開催する。

(4) 明風園サロンぽるかの運営実施に協力し、地域貢献に努める。

III 本年度の重点的取組と数値目標

1 重点的取組

(1) 研修の円滑な運営

予定されている対面研修については、新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、安心して受講できる研修環境を提供する。更にコロナ禍における有効な研修方法として、Zoomを活用した研修を継続する。対面で予定している研修も感染状況により迅速に切り替えられるよう周到に準備を重ねる。機材やシステムに関する情報収集と共有を積極的に行い、開催中止の回避と研修内容の充実を図る。今年度は高齢者専門研修（5研修）と認知症介護実践者研修（第6回）・認知症対応型サービス型事業管理者研修（第1回）の計7研修をZoomで実施予定。

(2) 受託研修の受講者数確保

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、研修の延期やオンラインへの切替えを県と連携を密にしながら適時実施すると共に、受講者へのチラシ配布や機関誌等への掲載等広報に注力し、受講者数の確保を目指す。

2 数値目標

研修別受講者数（人） *R3年度実績はR4年1月までの実績+3月までの見込み				
	認知症介護等 研修	ぐんま認定介護 福祉士養成研修	権利擁護推進員 養成研修	介護職員初任者 研修
R4年度目標	1085	264	32	10
R3年度実績	966	70	29	中止
R元年度実績	864	26（本研修中止）	31	9

令和4年度に中止となる研修

ア 認知症介護基礎研修（定員50×6回）

イ ぐんま認定介護職員養成研修 認定者研修（定員60×1回）

(参考) 新型コロナウイルスの影響で中止となった研修

*R3年度は1月末現在

R3年度	ア 介護職員初任者研修 (定員25×1回) イ 喀痰吸引等指導者講習 (定員50×1回) ウ アンガーマネジメント講座 (定員40×1回)
R2年度	ア 実践者研修 (定員55×2回) イ 喀痰吸引等指導者講習 (定員50×1回) ウ ぐんま認定介護福祉士養成研修 (定員50×1回)
R元年度	ア 認知症介護フォローアップ研修 (定員300×1回)